

# 温故**技**新！今こそ残したい伝統の技

相馬偉伸氏が見せ、柴山登光会長がアシスト

いかに機械化が進もうとも、いかにデジタル化が進もうとも、人の手の技術への振り返りこそがモノづくりを次の高みに引き上げるキーです。その意味で技術者不足と言われる昨今の状況は深刻な問題を孕んでいます。

とりわけ「レディースも基礎はメンズ」という認識が出てきた今、経験豊富なメンズの技術者からその技術を伝承することはアパレル業界全体にとっても欠かせません。

日本モデリスト協会は2017年夏期セミナーでこの問題に正面から取り組みます。講師は協会正会員でテラー出身の技術者である相馬偉伸氏。相馬氏のテラー技術のキモになる部分を限られた時間の中でお見せします。

さらに、日本が誇るモデリストの一人である柴山登光氏（協会会長）が相馬氏のアシストを務める協会ならではの豪華キャストによるセミナーです。



## 講師プロフィール

相馬 偉伸 Souma Hidenobu 日本モデリスト協会正会員



- 1933年（昭和8年）6月15日、東京・江戸川区小岩生まれ。
- 45年3月末、父の故郷・秋田県角館に疎開。  
そのまま角館に残り、学卒後父の注文洋服店に従事。20歳過ぎて上京。
- 55年6月、日本洋服専門学校（のちの日本メンズ・アパレルアカデミー）裁断科卒業。  
同年9月から原信田洋服店で紳士と婦人の両方を修業。
- 65年、日本洋服専門学校に専任講師に就任。
- 75年4月、帝国繊維の縫製部顧問として工場の技術担当。その後も紳士・婦人服がわかる技術者として複数のアパレルを指導。
- 86年1月から銀座山形屋グループのイージーオーダーと高級オーダーの工場長を歴任（93年定年退職）。その後、アトリエ・ソーマとしてメンズ、レディースのアパレルコンサルタントとして活躍。岐阜県多治見市に移り住んだ後も「技術の伝承」への使命感を持ち続けている。

日程	2017年8月26日(土)	時間	13:00~17:00 12時30分受付開始、途中休憩が入ります。
会場	織田学園・グリーンホール JR・地下鉄「中野駅」北口下車約3分	参加費	会員3,000円・非会員5,000円

## 受講申し込み書

申込先: 日本モデリスト協会 切り離さず、この用紙のままFAXしてください。  
FAX (03)5261・7075 E-mail: jnma@ifashion.co.jp

氏名 \_\_\_\_\_ 電話・FAX等 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_ 会社名あるいは職種 \_\_\_\_\_

●受講申し込み書に必要な事項をご記入の上、8月19日（土）までにFAXしてください。  
メールまたは郵送でも結構です。メールの場合は参加申込書にご記入後、PDFを添付して送信して下さい。